



子どもの主体性を育む探究のカリキュラムデザイン研修 探究の学び、学習者中心の学びのための プロセスデザイン

学習者中心の学びを創りたい！子どもたちと探究の学びを深めたい！でも、どうすれば・・・
そんな思いや悩みを抱えているあなた。今年度も軽井沢風越学園校長の岩瀬直樹さんに来ていただくことになりました。今回は、若年層で、実際に子どもたちと日々関わっている方に多く参加していただきたいと考えていますので、ぜひ一歩踏み出して、私たちと一緒に学び合いましょう！

講師：軽井沢風越学園 校長 **岩瀬 直樹 氏**



日 時/参加条件など

7月13日(土)14:00～17:30

受付13:30～ 定員48名 (先着順)

参加費3,000円 (テキスト代として)

学校・地域等で、学級担任や教科担任、子どもたちを対象にした学びの場を現在、実際に担当されている方や経験年数が浅い方にできるだけ多く参加していただきたいと考えています。

研修会の概要

探究の学びや学習者中心の学びを実践するために、学級や学校をどのようなコミュニティとして育てていくとよいかは、とても大切なテーマです。

子どもたちが学び合い高めあう学級づくり、対話が大切にされるコミュニティ、そのための学びのプロセスづくりが欠かせません。学び合う関係性はどうデザインすると良いのか。学習者として実際に体験することを通じて、ご自身の実践に活かしていくような研修を目指します。軽井沢風越学園の実践をまとめた書籍『プロジェクトの学びでわたしをつくる』(改訂増補版)もテキストとして活用します。

日々の授業を一斉授業から学習者中心に移行したいと思っている若い方にたくさん来ていただきたいです。初任の方も大歓迎です。もちろん職員室を学び合うコミュニティにしたいというミドルやベテランの方もぜひ。教室と職員室は入れ子構造です。「探究の学び、学習者中心の学びのベースとなる『学び合うコミュニティ』のつくりかたってこんな感じか！」を実感できる時間になると嬉しいです。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています！

(岩瀬さんのコメントから)

お問い合わせ

愛大・ESDラボ事務局



〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学教育学部 教育臨床講座内

担当：藤原 一弘(愛媛大学教育学部)

E-mail fujiwara.kazuhiro.xb@ehime-u.ac.jp

実施場所

**アシックス里山スタジアム
クラブハウス内 LOG ROOM**

〒794-0067 愛媛県今治市高橋ふれあいの丘1-3

- ・JR予讃線「今治駅」よりタクシー10分
- ・JR予讃線「今治駅」より路線バスまたはイオンモール行きシャトルバスにて15分(下車後徒歩10分)

FC今治の
ホームスタジアムで、
瀬戸内海とピッチを
見ながら研修！



©FC.IMABARI



©FC.IMABARI



©FC.IMABARI

希望者には、参加費とは別に**850円**で里山サロンの**スコーン2種&ドリンク1杯**購入可能！
(申込時の注文限定です)
(休憩時に届けていただきます)

お申し込みはこちらから！
<https://forms.gle/FkyArjoHGd6svDGn7>



どんな子どもにも幸せな子ども時代を過ごしてほしい。遊びが学びへとつながっていく、この人間の自然な育ちを大切にしたい学校をつくりたい。そうした思いをベースに私たちは、3歳から15歳までが一つの校舎で学ぶ「軽井沢風越学園」を2020年4月に開設しました。

私たちは、講義中心の一斉授業・画一的なカリキュラム・固定的な学級編成等に代表されるような従来型の学校教育に限界を感じている一方で、子ども自身と公教育の可能性を信じています。自分はどんなことに幸せを感じるのだろうか、また自分以外の一緒に生活する仲間や生き物・自然を含めて、幸せになるってどういうことだろうか、と考え続けてもらいたいという願いがあります。

軽井沢風越学園は、子どもも大人も「つくる」経験を、じっくり、ゆったり、たっぷり、まざって積み重ねていきます。本気で手間をかけて「つくる」ことに没頭し、ときには不安や不安定さを味わいながら「つくる」ことに挑戦していきます。私たちは子どもこそがつくり手であることを信じています。

ここでいう「つくる」は物理的なものや学習の成果物だけにとどまりません。安全・安心な場を自分たちでつくる、学びをつくる、自分たちの学校をつくる、コミュニティをつくる、仕組みをつくる、ルールをつくる、自分をつくる。つまり、「わたし(たち)の未来をわたし(たち)でつくる」冒険をするのです。子どもたち、スタッフ、保護者、地域の方々など、軽井沢風越学園では誰もがづくり手です。「つくる」ことを通じて、「自由に生きる」ということと「自由を相互に承認する」ということを繰り返し試していきます。そうすることで、1人ひとりが幸せになり、幸せな社会をつくっていくのです。

(引用：風越学園HP <https://kazakoshi.ed.jp/>)



講師紹介【岩瀬直樹さん】

北海道札幌市出身。東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了。埼玉県の公立小学校教諭として、4校で22年間勤め、学習者中心の授業・学級づくりに取り組む。2015年に退職後、東京学芸大学大学院教育学研究科 教育実践創成講座 准教授として就任。学級経営、カリキュラムデザイン等の授業を通じて、教員養成、現職教員の再教育に取り組んだ。

2016年12月、軽井沢風越学園設立準備財団設立に参画し、2019年10月学校法人軽井沢風越学園設立。2020年より軽井沢風越学園校長。2022年5月軽井沢風越ラーニングセンターを開所し、スクールベースの教師教育に挑戦している。

(主な著作)

『インクルーシブ教育を通常学級で実践するってどういうこと?』(学事出版 2019年) (共著)

『せんせいのつくり方“これでいいのかな”と考え始めたわたしへ』(旬報社、2014年) (共著)

『プロジェクトの学びでわたしをつくる』

増補改訂版 4 / 3 発売

軽井沢風越ラーニングセンター編

本書は、軽井沢風越学園がどのように探究の学びやプロジェクト学習をとらえ、どんなツールや仕組みで設計しているか、スタッフはどんなことを考え、子どもたちはどのように受け取っているかを伝える試みです。実体験と抽象、探索と探究、あそびと学び。

それらを行き来しながら、一人ひとりの「わたしをつくる」と「わたしたちでつくる」時間を積み重ねている子どもたちと風越学園のスタッフの実践の現在地を共有します。

この本が、本気で探究の学びにチャレンジしようとしている全国の方々の学びや実践に伴走するものになることを願っています。



(引用：風越学園HP)

<https://kazakoshi.ed.jp/news/klc/33207/>

【確認・留意事項 (必ず確認・了承の上申込をしてください)】

- ① 本研修会は、申込フォームによる先着順で申込を受け付けます。(定員に達した時点で、申し込みを締め切ります。)
- ② 当日受付にて参加費3000円を徴収します。できるだけお釣りの無いようにご準備ください。
- ③ 里山スタジアム内には駐車場もございます。施設のルールに従って駐車ください。
- ④ 里山サロンの軽食【スコーン&ドリンク1杯】(希望者のみ)は、**申込時のみの注文受付**です。当日の注文は受け付けておりませんので、予めご了承ください。(1人850円が別途必要です。当日受付で徴収します。)
- ⑤ 研修会当日は、施設スタッフ及び研修会担当者の指示に従ってください。研修会時に起こった事故、怪我、トラブル等に関しては主催者及び講師は一切の責任を負いません。

※ 本研修会は、JSPS科研費 22K02576の助成及びNITS(教職員支援機構)・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業の助成を受けて実施します。

